

春日井ロータリークラブ

2017～2018年度 WEEKLY REPORT



ロータリー:
変化をもたらす

クラブテーマ

～ロータリアンの第一歩は、まず例会に出席しよう
そして、会員同士をよく知り「アットホーム」なクラブにしよう～

会 長 : 近藤 太門 例会日 : 金曜日 12:30～13:30
副 会 長 : 加藤 久仁明 例会場 : ホテルプラザ勝川
副 会 長 : 野浪 正毅 事務局 : 春日井市鳥居松町5-45
幹 事 : 加藤 宗生 TEL : (0568) 81-8498
会報委員長 : 古屋 義夫 FAX : (0568) 82-0265
E-mail : Ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

ふれあい緑道

本日のプログラム

- | | | |
|------------------|---------|--------|
| ・点 鐘 | 司 会 | 会場委員会 |
| ・国歌 | 「君が代」 | 近藤 太門君 |
| ・ROTARY SONG | 「奉仕の理想」 | |
| ・ビジター紹介 | | 近藤 太門君 |
| ラベールミラクリニック院長 | | 新井 根洋様 |
| ・食事・歓談 | | |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | | 近藤 太門君 |
| ・卓話ラベールミラクリニック院長 | | 新井 根洋様 |
| ・幹事報告 | | 加藤 宗生君 |
| ・点 鐘 | | 近藤 太門君 |

先週の記録

会長挨拶

会長 近藤 太門君

5月16日に「春日井市安全安心なまちづくり協議会」から出席要請をいただきましたので、出席をしてきました。市側からは先日の新潟での悲惨な事案があり、現在の「子供110番」の見直しと拡充、登下校時の見守りの拡充、等々の話がありました。春日井警察署の生活安全課の金子功治課長さんから、犯罪の抑止と犯罪の解明には「防犯カメラ」の存在非常に大きいので、市内の各事業所での設置をしてほしい。先日、「けやきライオンズクラブ」より3台のカメラの寄贈があった。又、春日井警察署での刑法犯は、29年度は28年度より95件減少するも、自動車のナンバープレート盗は依然として多く、盗難防止ネジの普及率が未だ18%と低く普及に努めたい、とのお話でした。

幹事報告

幹事 加藤 宗生君

6月1日(金) 第12回理事役員会 11時30分～
卓話 新井 根洋様 12時30分～

2018年6月1日(金)2368回(6月第1例会)

◎例会変更のお知らせ

西 尾	6月5日(火)→6月3日(日)
R C	家族例会の為 らんらんいちご園
あ ま	6月11日(月)
R C	創立記念例会の為
瀬 戸	6月13日(水)
R C	親睦例会の為
名 古 屋 守 山	6月13日(水)
R C	最終夜間の為
江 南	6月14日(木)→6月15日(金)
R C	職場訪問の為 愛知江南短期大学

出席報告

委員長 梅村 守君

会員 53名	欠席 29名	出席率 45.2%
先々週の修正出席	欠席 4名	出席率 92.4%

ニコボックス報告

委員長 芝田 貴之君

○中電ウイングの三澤さまの卓話を楽しみに
近藤 太門君

○10月11日開催の大相撲春日井場所のチケット販売が6月7日から始まります 稲垣 勝彦君

○JCの後輩が会員拡大で頑張っています。お力を貸してください 下田 育雄君

○JCの皆様ようこそ 青山 博徳君

○中電ウイング三澤専務の卓話を楽しみに

足立 治夫君 梅村 守君 大原 泰昭君

小野寺 誠君 加藤 茂君 加藤 宗生君

川瀬 治通君 貴田 永克君 社本 太郎君

友松 英樹君 成瀬 浩康君 場々大刀雄君

古屋 義夫君 藤川 誠二君 屋嘉比良夫君

山田 治君 和田 了司君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

ロータリー親睦活動月間

例会予定	6月8日(金) 卓話 春日井消防長 大谷 正人様 消防職員表彰 入会式	6月15日(金) 祝福 卓話 一ノ瀬 芳翠様	6月22日(金) IDM 18:00～ ホテルプラザ勝川	6月29日(金) 休会(定款8-1)
------	--	------------------------------	---------------------------------------	-----------------------

ホームページ : <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

卓話 中電ウイング

三澤 弘一様

中電ウイングは、平成13年に設立し、平成15年に開業した中部電力100%出資の特例子会社です。38名からスタートした従業員も、今では123名となりました。当社では、障がい者のことを夢に向かって挑戦する人「チャレンジド」と呼んでいます。現在、身体チャレンジド14名、知的チャレンジド53名、精神チャレンジド13名で、合計80名のチャレンジドが働いています。そのほかに指導者や管理間接部門の要員43名がおり、合計で123名の社員が元気に働いています。当社の合言葉に「心あわせ力あわせ」があります。ここで働く誰もが心と力を合わせ夢に向かって挑戦しています。企業に対して、障がい者の雇用を義務づける法律があります。「障害者雇用促進法」といいます。現在この法律では45.5人以上の企業は、総従業員の2.2%以上の障がい者を雇用することが義務づけられています。障がい者雇用率は5年ごとに改正されることとなっていますが、大きな変化は平成10年と平成30年(今年)にありました。平成10年に知的チャレンジド、今年平成30年に精神チャレンジドの雇用が義務づけられました。中電ウイング設立の契機となりましたのは、平成10年の知的チャレンジドの雇用が義務化されたときです。中部電力では、それまで法定雇用率は維持しておりましたが、知的チャレンジドや車いすなどの重度身体チャレンジドの雇用がほとんど進んでおりませんでした。そのため、経営層から知的チャレンジドや身体チャレンジドの雇用について検討の指示がありました。しかし、設備面や仕事面から中部電力本体での雇用が困難で、しばらくは別の方法で雇用する必要がありました。色々と検討する中で特例子会社のことが確認されました。この方法なら一か所に集中するため、バリアフリーなどの設備の改修も経済的負担が少なく、また仕事も全社から集めることができるため、知的チャレンジドの雇用も可能であることがわかりました。そこで、特例子会社中電ウイングを設立し、バリアフリーの実現や知的チャレンジドが対応できる仕事の切り出しを行い、誰もが生き生きと働ける環境づくりに力を入れてきました。仕事は、中部電力およびグループ会社からの受注が大半です。防災用品や制服などの物品の調達を行っている商事部門、デザイン、印刷、製本を行っている印刷部門、花苗の生産、植え付けを行っているアグリセンターが開業時の主な事業です。最近では、郵便物の仕分け、定型的な事務処理、日常清掃など請負事業を開拓し、仕事は多岐にわたっています。就労を安定させるための体制作りにも力を入れてきました。設備や作業環境の改善、本人へのサポート、周囲の理解の促進、そして、さらに就労を継続していくため外部支援機関との連携も欠

かせません。中電ウイングで大切にしていることに次のようなポイントがあります。「安全と健康」、「あいさつ、コミュニケーション」「整理、整頓、清掃などの5S」、「個人の能力、特性を生かす」「もの、お金、時間」、「心あわせ力あわせ」これらのポイントに積極的に取り組んでいます。「個人の能力、特性を生かす」ことに関しては、一昨年身体チャレンジド2名が日本代表としてフランスボルドーで開催されたアビリンピックの世界大会に出場し、1名が銀メダルを獲得しました。昨年の9月には開業以来ご見学者が3万人を突破しました。チャレンジドが生き生きと働く姿に「元氣と勇気をもらった」と高く評価いただいております。今後の課題ですが、障害者雇用促進法の改正が予定されており、現行の雇用率2.2%が3年以内に2.3%、そしてさらにアップする可能性が高くなっています。今後も中部電力と一体となって障がい者雇用に取り組んでいきたいと思っております。また、2020年に電力システム改革の一環として会社の法的分離が予定されており、中部電力の変化に応じて対応する必要があります。これらの課題に適切に対応し、今後も一人でも多くのチャレンジドを雇用してまいりたいと思っております。

会長挨拶 近藤 太門君



例会風景





春日井 JC 入会ご案内



卓話 中電ウイング専務取締役 三澤 弘一様



各委員会報告

